

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	野田市立岩木小学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○全国学力・学習状況調査の記述式の問題において正答率が低い。分析を行った結果、条件に合わせて考えを記述する設問の正答率が低く、無解答率も全国を上回った。目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりすることに課題が見られた。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○単元づくりに重点を置いた。教科等横断的に実生活と結び付け、必要感があり、達成感・成就感の得られる授業づくりに取り組んだ。

3. 具体的な実践

【 研究の三本柱 】

- 一人一単元の単元づくり
- 朝学習国語「廊下掲示物で書く」活動
- 読書活動の推進

4. 成果

- 一人一単元の単元づくりを担ったことで、担任それぞれが授業改善を図ることができた。教科等横断的な視点ももてたこと、児童にとって必要感のある学習を構成できたこと、探究的な単元を構成できたことが、達成感・成就感のある学習に繋がった。
- 廊下掲示物を週に1枚以上書かせたことにより、児童の記述量が増えた。常時的に書くことを位置付けたことが児童の記述量に成果として表れた。
- 学年図書棚を設置したことにより、日常の読書量が増えた。

◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 木村 尚史）

○全国学力・学習状況調査の実施後に校内で仮採点や問題分析を行うことで、実態や学力観を職員全体で共有することができた。一人一単元の単元づくりでは、随所に様々な工夫が見られ、児童の資質・能力の育成に効果的であったとともに、教員の指導力向上の点でも大変有効であった。「相手」や「目的」を意識した様々な言語活動に取り組みせてきたことで、達成感や成就感を味わわせるとともに、「書くこと」に関する資質・能力の向上が見られた。